

2023仙台市議選 立候補予定者 こども子育て政策に関するアンケート

回答者名【 鈴木ひろやす 】 立候補予定選挙区【 太白区 】

問1. 仙台市では、保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業を行っていますが、どのように評価していますか。

モデル事業がスタートしたことは高く評価する。一方で終了後は課題等もクリアしながら各園で導入ができるようにしていく。

問2. 仙台市発達相談支援センター(アーチル)が、受付から相談対応まで最大4ヶ月かかることに対して、どのようにお考えですか。

相談をされる保護者には大変な苦勞と負担をかけている。民間との連携も踏まえて今後相談体制及び認定に要する期間短縮に努めていきたい

問3. 厚生労働省は、インクルージョンを推進していく上では、児童発達支援と幼稚園・保育所等との併行通園を推奨していくことが重要としています。どのようにお考えですか。

受け入れ体制を整えながら、事業所側への受け入れた際のインセンティブ等も必要と考える

問4. 仙台市には、障害のある子どもを保育園に預けたくても預けられず、就労を諦めている人が一定数おられます。この現状についてどう思われますか。

障がいがあっても受け入れることができる体制を整えていくことが重要である。一方で職員体制の充実も図ることも必要である。

問5. 仙台市の医療的ケア児の保育所受入れ人数は100万人当たり4.6人で、政令指定都市20都市中17位です。この現状についてどう思われますか。

受入体制が不十分。医療的ケア児支援法を踏まえて、受け入れた際の専門的ケアができる職員配置ができるよう、養成することも市として取り組むべきである。

問6. その他、コメントあればお願いいたします。